

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2024年 05月 28日

静岡県知事殿

提出者

住所 静岡県焼津市浜当目708-1

氏名 サッポロビール（株）静岡工場

上席執行役員 工場長 下田 智紀

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

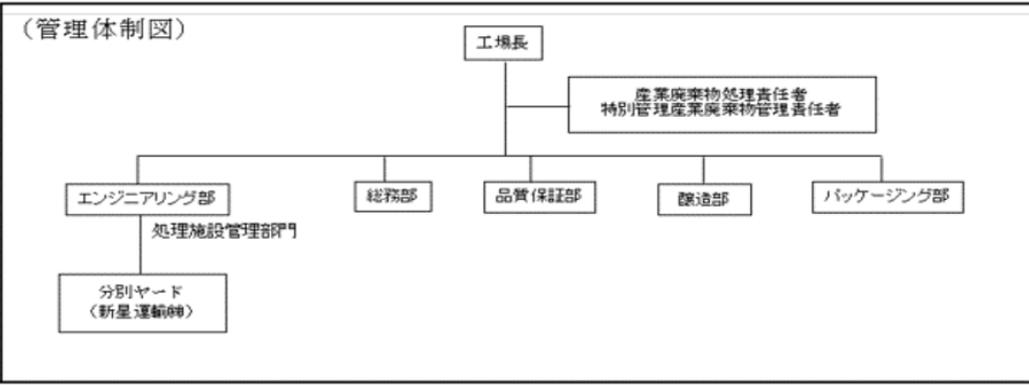
電話番号 054 - 629 - 5111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	サッポロビール株式会社 静岡工場		
事業場の所在地	静岡県	焼津市	浜当目708-1
計画期間	2024/4/1 ~ 2025/3/31		
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
① 事業の種類	飲料・たばこ・飼料製造業		
② 事業の規模	2023年製造量 181,670KL		
③ 従業員数	静岡工場 129名(正社員108名、それ以外の職員28名)		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1参照		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	排出量
	有機性汚泥	2,264.360 t
	動・植物性残渣	258.770 t
	木くず	8.070 t
	廃プラスチック類	43.977 t
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	13.860 t
	一般廃油	1.460 t
	金属くず	0.053 t
	(これまでに実施した取組) 別紙2参照	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	排出量
	有機性汚泥	2,258.507 t
	動・植物性残渣	258.101 t
	木くず	8.070 t
	廃プラスチック類	43.977 t
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	13.860 t
	一般廃油	1.460 t
	金属くず	0.053 t

		(今後実施する予定の取組) 別紙2参照
産業廃棄物の分別に関する事項		
	①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙3参照
	②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙3参照

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	
		0.000 t	
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	
		0.000 t	
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量
	有機性汚泥	0.000 t	1,219.271 t
	動・植物性残渣	0.000 t	110.901 t

①現状		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
	(これまでに実施した取組) 別紙2参照		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量
	有機性汚泥	0.000 t	1,216.119 t
	動・植物性残渣	0.000 t	110.615 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
	(今後実施する予定の取組) 別紙2参照		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量
		0.000 t
	(これまでに実施した取組)	
	②計画	【目標】
産業廃棄物の種類		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量
		0.000 t
(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
	【前年度（令和 5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

		①	②	③	④	全処理委託量
		(t)	(t)	(t)	(t)	(t)
①現状	有機性汚泥	0.000	2,264.360	0.000	0.000	0.000
	動・植物性残渣	13.830	258.770	0.000	0.000	0.000
	木くず	8.070	8.070	0.000	0.000	0.000
	廃プラスチック類	3.757	43.977	0.000	0.000	0.000
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	1.860	13.860	0.000	0.000	0.000
	一般廃油	0.000	1.460	0.000	0.000	0.000
	金属くず	0.053	0.053	0.000	0.000	0.000
	(これまで実施した取組) 別紙2参照					

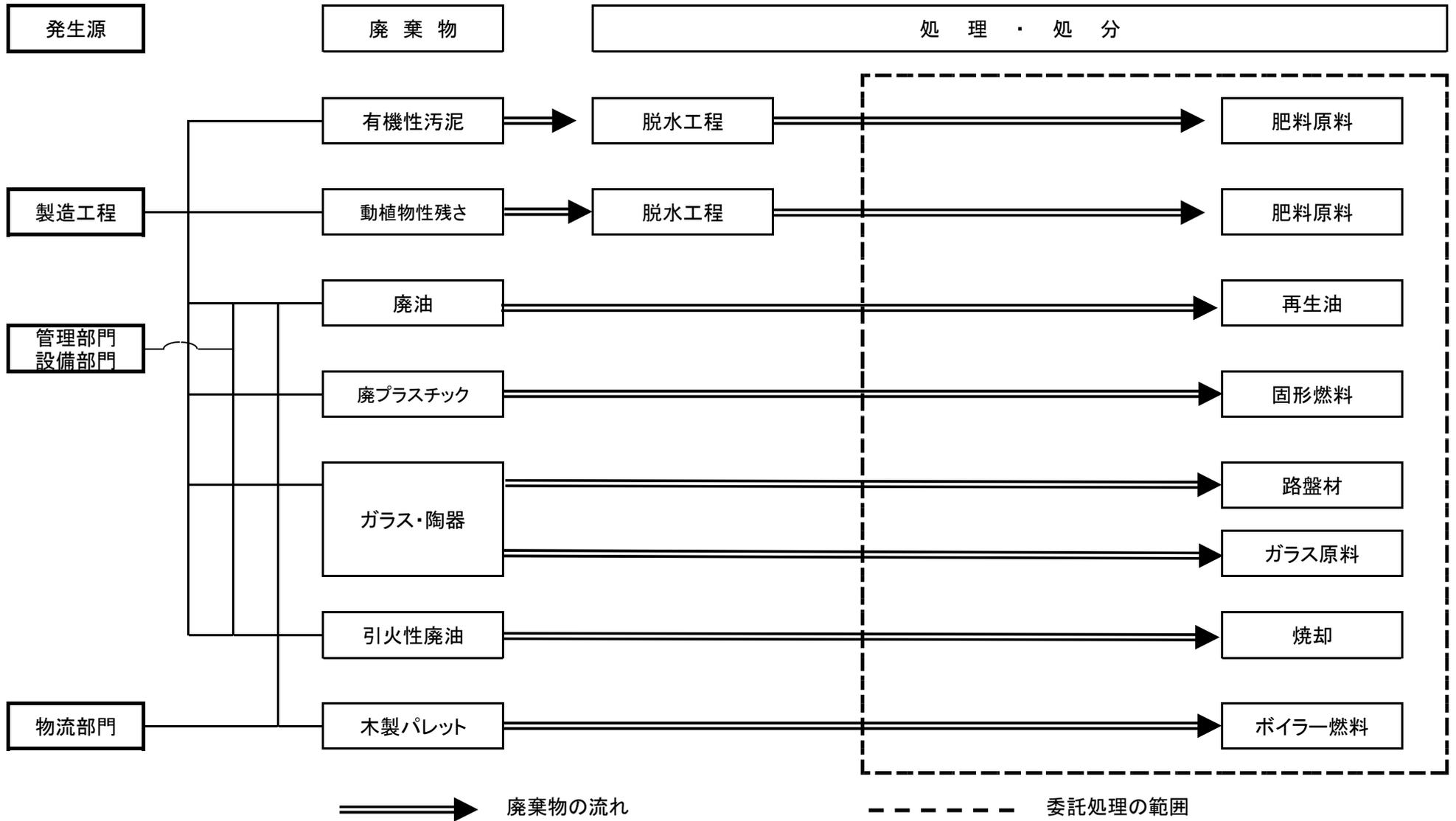
		【目標】				
産業廃棄物の種類	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量					
	① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	全処理委託量 (t)	
有機性汚泥	0.000	2,258.507	0.000	0.000	0.000	
動・植物性残渣	13.794	258.101	0.000	0.000	0.000	
木くず	8.070	8.070	0.000	0.000	0.000	
廃プラスチック類	3.757	43.977	0.000	0.000	0.000	
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	1.860	13.860	0.000	0.000	0.000	
一般廃油	0.000	1.460	0.000	0.000	0.000	
金属くず	0.530	0.053	0.000	0.000	0.000	
(今後実施する予定の取組) 別紙2参照						
※事務処理欄						

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

<別紙1> 産業廃棄物の一連の処理の工程



2023年度廃棄物処理量実績と2024年度目標

(単位:t)

	2023年度目標					2023年度実績					2024年度目標					これまで実施した取組	今後実施する予定の取組
	①排出量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑩全処理委託量	⑪優良認定処理業者への処理委託量	⑫再生利用業者への処理委託量	①排出量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑩全処理委託量	⑪優良認定処理業者への処理委託量	⑫再生利用業者への処理委託量	①排出量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑩全処理委託量	⑪優良認定処理業者への処理委託量	⑫再生利用業者への処理委託量		
有機性汚泥	2,852.370	998.330	1,854.041	0.114	1,854.041	3,483.631	1,219.271	2,264.360	0.000	2,264.360	3,474.626	1,216.119	2,258.507	0.000	2,258.507	製造量に比例した排出	製造量に比例した排出
動植物性残さ	399.691	119.907	279.784	13.919	279.784	369.671	110.901	258.770	13.830	258.770	368.716	110.615	258.101	13.794	258.101	製造量に比例した排出	製造量に比例した排出
①有機性汚泥・動植物性残さ	3,252.061	1,118.237	2,133.824	14.033	2,133.824	3,853.302	1,330.172	2,523.130	13.830	2,523.130	3,843.342	1,326.734	2,516.608	13.794	2,516.608	含水率低減	含水率低減
②木くず	34.700	0.000	34.700	34.700	34.700	8.070	0.000	8.070	8.070	8.070	8.070	0.000	8.070	8.070	8.070	前年並みを維持	前年並みを維持
③廃プラスチック類・蛍光灯	43.055	0.000	43.055	10.855	43.055	43.977	0.000	43.977	3.757	43.977	43.977	0.000	43.977	3.757	43.977	LED化推進	LED化推進
④ガラス・コンクリート・陶磁器くず	0.465	0.000	0.465	0.465	0.465	13.860	0.000	13.860	1.860	13.860	13.860	0.000	13.860	1.860	13.860	前年並みを維持	前年並みを維持
⑤廃油(一般)	1.610	0.000	1.610	0.220	1.610	1.460	0.000	1.460	0.000	1.460	1.460	0.000	1.460	0.000	1.460	前年並みを維持	前年並みを維持
⑥金属くず(廃乾電池)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.053	0.000	0.053	0.053	0.053	0.053	0.000	0.053	0.053	0.053	前年並みを維持	前年並みを維持
合計	3,331.891	1,118.237	2,213.654	60.273	2,213.654	3,920.722	1,330.172	2,590.550	27.570	2,590.550	3,910.762	1,326.734	2,584.028	27.534	2,584.028		

分別ヤード配置図

